

## 2年生道徳授業「郷土料理に込められた思いについて考えよう」

11月7日から1週間ごとに栄養教諭が2年生の道徳の授業を回り、郷土料理をテーマに「郷土の伝統と文化の尊重」について考える授業を行っています。

昨年から計画し、今の3年生にも授業を行い、今年で2年目です。郷土料理や郷土の文化について考える貴重な時間となっています。

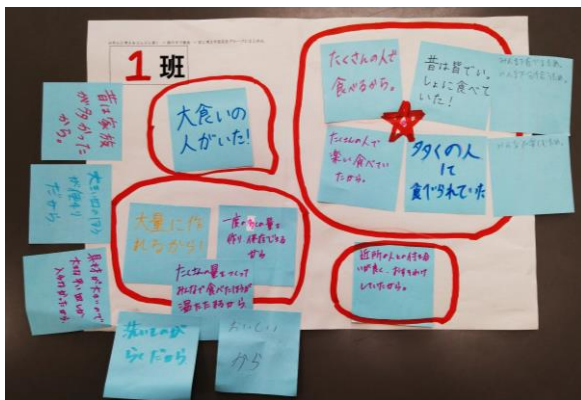


←班で、なぜ大平は大きな平たい器に盛られるのか、その意味を話し合い、付箋にまとめています。

↓付箋で考えをまとめ、どんな考えが出たか発表します。特に良いと思った考えに星マークをつけています。

↓いろんな班が下のよう、同じような考えの付箋まとめ、マジックペンで囲む作業を行い、とても見やすいまとめとなっています。

たくさん同じような意見も出ていれば、個性的な意見も出ており、とても考えが深まったようです。



↓郷土料理は、「和食文化の原点」と言うべきものであり、食を囲む人々の心をつなぐものでもあります。

つながれてきたバトンをどうするかひとりひとり真剣に考えています。

普段何気なく食べている郷土料理、和食は、日本の大切な文化の一つです。今回の道徳の授業は、“受け継ぐ”“バトン”というキーワードでまとめましたが、このワードは食文化だけでなく、地域の文化、国の文化すべてに当てはまります。自分の文化、相手の文化それぞれを大切にしたいです。



## ～授業の気づき、感じたこと～（生徒振り返りより）

- ・大平が作られた時は、今よりもっと周りの人との繋がりを大切にしていたのかなど思いました。昔のように家族や友人、近所の人と楽しみながらおいしい大平が食べられるように次の世代へつないでいけたらいいと思います。
- ・食は人をつなぐバトンということを学びました。食は私たちにとって生きるためにあるのと同時に、人と人をつなぐものになってるということが分かりました。これからも、食が生み出すバトンを次の世代へつなげていきたいです。
- ・大平にはいろんな意味が込められていて、とても温かいなど感じました。確かに、大きな皿の方が幅もとらなくてもいいし、家族で笑顔で食べられていいなど思いました。私も大平ではないですが、このような大きな皿に入れるのは良い案なので、取り入れてみたいです。
- ・大平は、大きな平たい器にもることで、皆が楽しく話しながら食べることができるので、とても良いと思いました。一度で良いので、クラスの皆と分け合ってみてみたいです。
- ・自分達も大人になったら実際に作り、家族を通してつなげていきたいと思いました。

## ノロウイルス対策

寒い時期になるとノロウイルスが流行します。ノロウイルスは、感染力が強く、少量（10～100個）でも発症します。人の腸管のみで増殖し、一度感染しても繰り返し感染・発症するウイルスです。



### 1. ノロウイルスにはどうやって感染する？どんな症状がでる？

～感染～

感染ルートには、経口感染・接触感染・飛沫感染など、感染ルートが複数ある。

～症状～

- ・体内にウイルスが入ってから症状が現れるまで24～48時間の潜伏期間がある。
- ・激しい嘔吐や下痢、腹痛があり、ときには発熱・頭痛・筋肉痛を伴う。
- ・症状は1～3日続くが、後遺症は残らない。
- ・自覚症状がなくなってもウイルスの排泄が続くことがある。

### 2. 症状が出たらどうしたら良い？

- ・現在、このウイルスに効果のある抗ウイルス剤はないため、対症療法が行われる。
- ・下痢止め薬などは、病気の回復を遅らせることがあるので使用しないことが望ましい。
- ・体力の弱い乳幼児、高齢者は、脱水症状を起こしたり、体力を消耗したりしないように、水分と栄養の補給を充分に行う。
- ・ノロウイルスに感染した患者より排泄されたふん便及び吐ぶつは、感染性のあるものとして注意が必要。

### 3. ふん便や吐ぶつを処理する際の注意事項

- ・床等に飛び散ったものを処理するときは、「使い捨てのエプロン・マスク・手袋」を着用し、汚物中のウイルスが飛び散らないように、「ペーパータオル」等で静かに拭き取る。拭き取った後は、次亜塩素酸ナトリウム（塩素濃度200ppm）で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをする。
- ・12日以上前にノロウイルスで汚染されたカーペットを通じて、感染が起きたじれもあるため、迅速に適切な処理が必要。

### 4. 予防方法

- ・最も重要で効果的な方法は、「石けんによる手洗い」。
- ・加熱調理するものは、十分に加熱する。（特に二枚貝）

